

令和6年度  
卒業生向けアンケート調査  
結果報告書

令和6年7月

新潟工業短期大学

広報・就職支援センター 就職支援室

# 目 次

## I. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査時期	1
4. 調査内容	1
5. アンケート回収状況	1

## II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付いたか	2
(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか	4
(3) 社会に出てから取得した資格	4
(4) 学生生活全般について有意義だったか	4
(5) 本学を勧めたいと思うか	5
(6) 本学に対しての意見	5

III. おわりに	5
-----------	---

## 1. 卒業生向けアンケート調査の概要

### 1. 調査目的

新潟工業短期大学の授業カリキュラムの充実を図るため、本学の卒業生を対象に、本学で身に付いた事柄やその程度、教育内容で強化すべき分野等を調査した。

### 2. 調査対象及び調査方法

卒業して3年目（令和4年3月卒業）の者に対して、卒業時採用企業に在籍している者は企業経由でアンケートを渡し、事前に退職が確認された者は実家住所に送付した。

対象者数62名

### 3. 調査時期

令和6年7月

### 4. 調査内容

(1) 授業他の下記8項目について、どの程度本学で身に付いたか

- ①仕事に必要な各種の資格
- ②仕事に必要な知識や基礎学力
- ③仕事における職務遂行能力
- ④協調性・コミュニケーション能力
- ⑤責任感・粘り強さ・誠実性
- ⑥パソコン操作等のスキル
- ⑦キャリアデザイン
- ⑧全体的

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（下記9項目）

※複数回答

- ①文科系（哲学・文学など）、②社会系（会計学・経済学）、③自然系（数学、物理学）、④専門科目A（教室での講義）、⑤専門科目B（実験・実習）、⑥幅広い教養（国際・情報・環境・人間など）、⑦社会常識（挨拶・礼儀作法）、⑧自動車整備士以外の資格、⑨その他

(3) 社会に出てから取得した資格

(4) 学生生活全般について有意義だったか

(5) 身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うか

(6) 本学に対しての意見

### 5. アンケート回収状況

回答者数：39名（回答率62%）

※退職者数：22名

## Ⅱ. 調査結果

### (1) どの程度本学で身に付けたか

#### ① 仕事に必要な各種の資格

仕事に必要な資格が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」が48.7%(昨年48%)と高く、「まあまあ思う」が35.9%(昨年32%)だった。8割を超える「仕事に必要な資格が身に付いた」の回答が得られた。半面「どちらとも言えない」が12.8%(昨年20%)、「思わない」が2.6%(昨年0%)あり、留意する必要がある(図1)

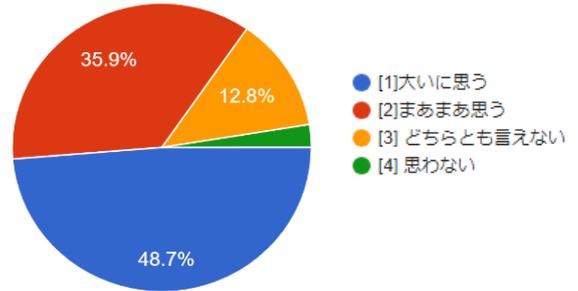


図1 資格が身に付いたかに対する回答

#### ② 仕事に必要な知識や基礎学力

仕事に必要な知識や基礎学力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が38.5%(昨年46%)と昨年より減少したが、「まあまあ思う」が53.8%(昨年46%)となり、今年も9割以上の「仕事に必要な知識や学力が身に付いた」という回答が得られた。また、「どちらとも言えない」が5.1%(昨年8%)、「思わない」が2.6%(昨年0%)あり、留意する必要がある。(図2)

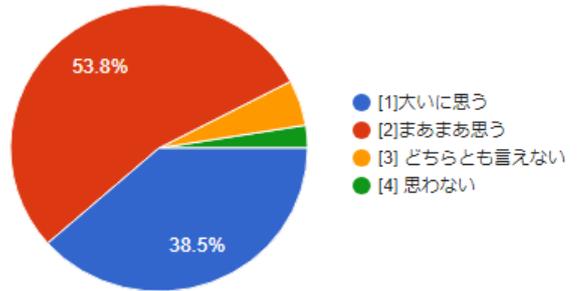


図2 知識、学力が身に付いたかに対する回答

#### ③ 仕事における職務遂行能力

仕事における職務遂行能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が23.1%(昨年37%)、「まあまあ思う」が35.9%(昨年46%)と、「仕事における職務遂行能力が身に付いた」という回答が▲24%と大きく減少した。「どちらとも言えない」が38.5%(昨年17%)あり、次年度以降の調査結果を注視する必要がある。(図3)

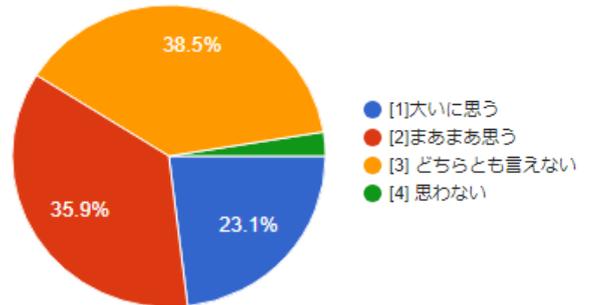


図3 職務遂行能力が身に付いたかに対する回答

#### ④ 協調性・コミュニケーション能力

協調性・コミュニケーション能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が38.5%(昨年39%)、「まあまあ思う」が48.7%(昨年49%)となっている。「どちらとも言えない」「思わない」とする割合はそれぞれ10.3%、2.6%であった。(図4)

前年調査結果とほとんど変わらない結果となり、約9割から「協調性・コミュニケーション能力が身に付いた」という回答を得ることができた。

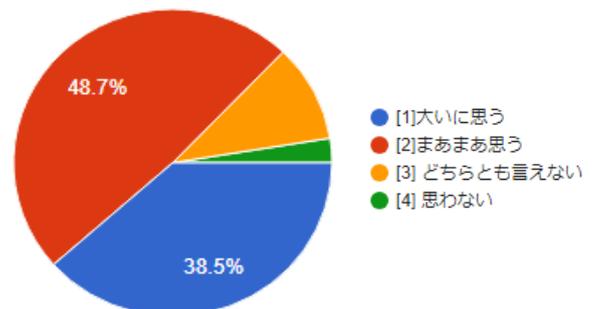


図4 協調性・コミュニケーション能力が身に付いたかに対する回答

### ⑤責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が43.6%（昨年42%）、「まあまあ思う」が48.7%（昨年49%）となっている。

「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ5.1%、2.6%である。（図5）

9割以上から「責任感・粘り強さ・誠実性」が身に付いたという回答を得ることができた。

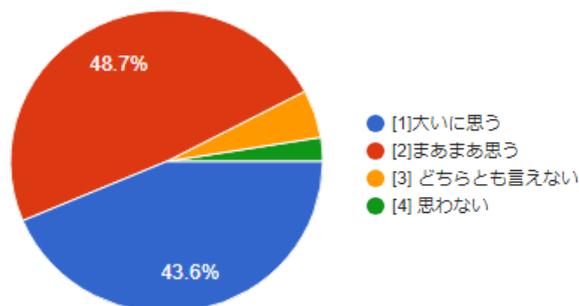


図5 責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかに対する回答

### ⑥パソコン操作等のスキル

パソコン等の操作スキルが身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が20.5%（昨年10%）、「まあまあ思う」が33.3%（昨年44%）となっている。

「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ30.8%、15.4%である。（図6）5割以上から「パソコン操作等のスキルが身に付いた」という回答が得られたものの、「どちらとも言えない」「思わない」とする回答も5割近くあり留意する必要がある。

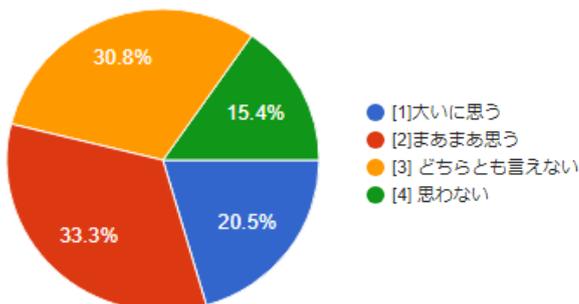


図6 パソコン操作等のスキルが身に付いたかに対する回答

### ⑦キャリアデザイン

キャリアデザインが役に立ったかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が25.6%（昨年34%）、「まあまあ思う」が38.5%（昨年49%）と、「キャリアデザインが役に立った」とする割合が▲19%と大きく減少した。「どちらとも言えない」が28.2%（昨年17%）、「思わない」が7.7%（昨年0%）である。（図7）来年度以降の調査結果を注視する必要がある。

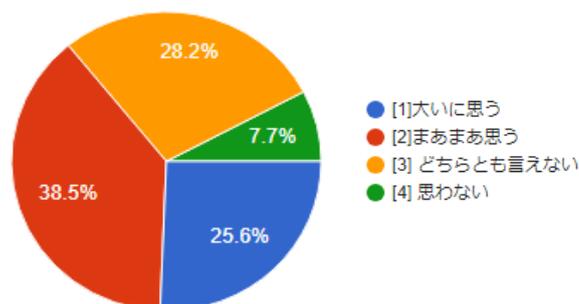


図7 キャリアデザインが役に立ったかに対する回答

### ⑧全体的

本学で学んだことは全体的にどの程度仕事の役に立っているかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が33.3%（昨年42%）、「まあまあ思う」が38.5%（昨年46%）と、「本学で学んだことは仕事の役に立っている」とする割合が前年と比べて▲16%と大きく減少した。

「どちらとも言えない」が20.5%（昨年12%）、「思わない」が7.7%（昨年0%）である。（図8）

今年度は結果を見る限り、授業の習熟度の低下が心配される結果となり、次年度以降の調査結果を注視する必要がある。

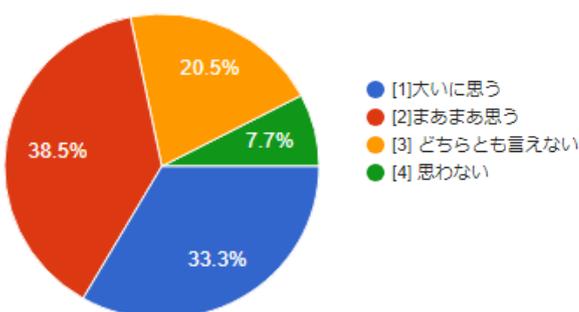


図8 本学で学んだことは仕事の役に立っているかに対する回答

## (2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか

今後本学のどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか(複数回答)について尋ねたところ、「[5] 専門科目B(実験、実習)」が64.1%で最も高く、次いで「[7]社会常識(挨拶・礼儀作法)」が38.5%だった。以下、「[4]専門科目A(教室での講義)」と「[6]幅広い教養(国際・情報・環境・人間など)」が17.9%、続いて「[2]社会系(会計学・経営学)」と「[3]自然系(数学、物理学)」が15.4%の順となっている。

(図9)

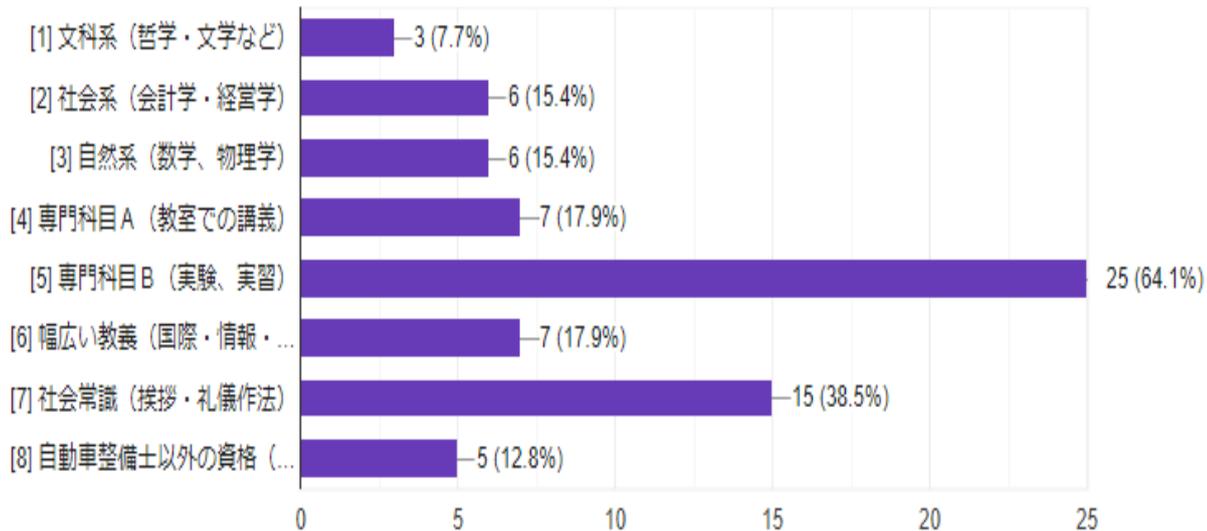


図9 どの分野の教育を強化・充実することが望ましいかに対する回答(複数回答)

## (3) 社会に出てから取得した資格

社会に出てから取得した資格について尋ねたところ、運転に関する免許は「普通自動車」(1)、「中型自動車」(1)、「大型自動車」(2)、「大型特殊」(1)、フォークリフト(1)、「普通・大型自動二輪」(2)。整備に関する資格は「国家整備士ガソリン2級」(1)、「メーカー社内検定資格」(7)、「整備主任」(1)、「タイヤ空気圧充填」(1)、「特定検査員」(1)、「玉掛け、クレーン」(2)、「アーク溶接」(1)、「自動車保険」(3)であった。 ※( )は人数

## (4) 学生生活全般について

学生生活全般が有意義だったか4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が61.5%、「まあまあ思う」が30.8%となっており、9割を超える「学生生活全般が有意義だった」する回答を得た。また、「思わない」という回答はゼロであったが、「どちらとも言えない」の回答が7.7%あったことは留意しなければならない。(図10)

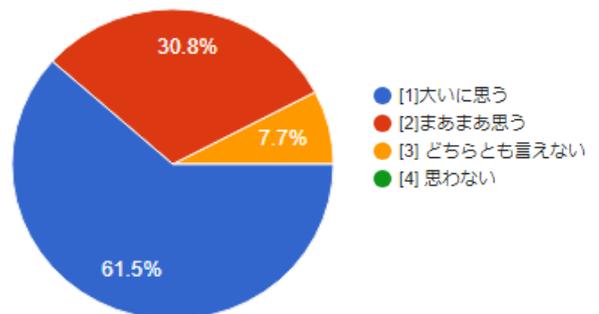


図10 学生生活全般について有意義だったかに対する回答

### (5) 本学を勧めたいと思うか

身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うかについて5段階で尋ねたところ、「ぜひ勧めたい」が17名43.6%(昨年22名53.7%)、「一応勧めてみる」が14名35.9%(昨年12名29.3%)、「紹介する程度ならする」が7名17.9%(昨年4名9.8%)となっている。「わからない」が2.6%(1名)、「勧めない」の回答はなかった。(図11)

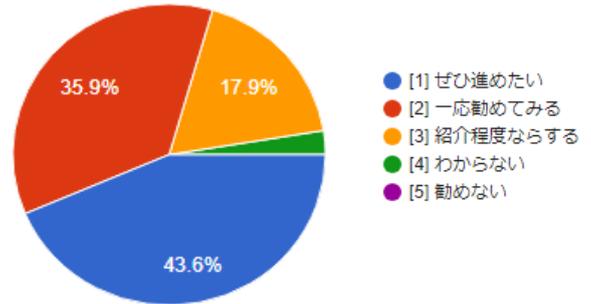


図11 本学を勧めるかに対する回答

### (6) 本学に対しての意見

- ・先進技術に関する不具合が増えてきているので基礎的な部分と電装関係の授業を増やすと出てから役に立つと思います。
- ・私は社会に出て一番大切な部分は自分の性格的部分だと思います。学生である間にどれだけ自分の意識を変えられるか。実習の内容を達成するだけでなく、協調性、遂行力等、性格的部分を育める授業ができればいいなと思います。
- ・先生のおかげで2級国家試験資格を取りました。ありがとうございました。
- ・必要になってくる作業をもっとさせるべきだと思う
- ・頑張ってください
- ・自動車整備士に関しての知識、技術の基礎を学ぶ事ができました。また、とても大切な友人が何人もできたことが何より嬉しいです。
- 先生方のご指導や学校の設備、環境が素晴らしいものだったため現在も自動車整備士という職を続けることができています。大変感謝しています。
- ・新潟工業短期大学の学校がすごく良い学校でした。ありがとうございました。
- ・車の勉強のための設備がたくさんあり、親切な先生と一緒に勉強することはとても役に立ちます。
- 学校の近くには多くの仕事があり、ライフスタイルが楽になります。
- ・留学生への免許取得
- ・留学生によく支援し、学費も軽減してもらいまして、助かりました。

## Ⅲ. おわりに

卒業生向けアンケートは毎年実施しており今後も継続して実施する予定である。昨年度の結果と比較して今年度は、「(1)どの程度本学で身に付いたか」の③仕事における職務遂行能力、⑦キャリアデザイン、⑧全体的の3項目において大きく評価を下げてしまっており、一過性のものととらえずに次年度の調査結果を注視する必要がある。

「(2)今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか」の問いに、今回も昨年同様「専門科目B(実験・実習)」が高い水準でトップに立っている。また、「社会常識(挨拶・礼儀作法)」のポイントも高かった。

「(5)本学を勧めたいと思うか」の問いに、ほぼ全員(1名がわからないと回答)が紹介に前向きではあるものの、「ぜひ勧めたい」と回答した割合が前年より10%下がっており、十分留意する必要がある。今後は高い技術力と常識・教養などを授業に生かして多くの卒業生の満足が得られる大学を目指して取り組むことが望まれる。

令和6年7月30日  
新潟工業短期大学  
広報・就職支援センター 就職支援室